

平成26年度事業報告書

自：平成26年4月 1日

至：平成27年3月31日

I. 事業実施概要

日本経済は平成26年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により弱い動きもみられたが、緩やかな回復基調が続いている。今後、経済の好循環が拡大する中で、デフレ脱却と経済再生への道筋を確かなものと出来るかどうか問われている。乳業界においては生乳生産減少等の影響から乳製品需給が逼迫し、カレント枠を超えた過去最大規模のバター・脱脂粉乳の追加輸入が行われた。農林水産省は平成27年度のカレント枠の前倒し輸入を発表するとともに、バターについては輸入決定時期の明確化等輸入における運用改善を明らかにした。また、食料・農業・農村政策審議会畜産部会における5年に一度の審議などを経て、新たな酪肉近代化基本方針が策定された。その中において、「生乳生産基盤の強化」が酪農界における喫緊かつ極めて重要な課題と位置付けられ、種々の観点から多くの施策が盛り込まれた。

このような状況に加え、平成26年度は乳等省令の一部改正、食品表示基準策定に向けた検討、日豪EPAの合意やTPP交渉など国際化の進行、容器包装リサイクル法・食品リサイクル法見直し審議などをも踏まえ、以下の5つの重点課題への対応を柱とした取り組みを実施した。

第一：品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保

牛乳・乳製品に対する消費者の安心・信頼を確保すべく、衛生及び品質の向上を最重要課題の一つと位置付け、講習会等による人材育成に取り組んだ。その中で、HACCPについては、国のHACCP基準の見直しを受け、新たなHACCP導入型基準に対応した講習会を初めて開催した。また、食品表示基準(案)、食品の新たな機能性表示制度について(案)に関するパブリックコメント募集に対し、消費者により分かり易い表示の実現という新法の趣旨を踏まえながらも、事業者負担の軽減やその実現性などの観点から会員意見を取りまとめて提出した。

第二：牛乳・乳製品の普及啓発と需給の均衡

公益目的支出事業として、小中高生を対象とした食育授業、学校・教育・食育担当者を対象とした食育勉強会、管理栄養士を目指す大学生を対象とした専門セミナー、一般消費者を対象としたおいしいミルクセミナーや工場見学会などを実施した。こうした取り組みを通して、牛乳・乳製品の価値を広く、普及

啓発した。併せて、電話相談やホームページを活用し、牛乳・乳製品の正しい知識の周知を図った。

乳製品需給に関しては、需給予測を踏まえ、安定供給に資する適切な対応を国等に要請した。

第三：国際化の進展への対応

合意した日豪EPAについて会員への理解を図るとともに、TPPについては国主催のTPP交渉に関する説明会に出席し、情報収集に努めた。

第四：環境・リサイクル対策の推進

地球温暖化防止と循環型社会形成に向けて、環境自主行動計画に取り組み、CO₂削減に関する優良事例の紹介等会員企業間の情報交換や廃棄物削減に関する地域単位での共同プロジェクト推進などを行った。また、環境マネジメントシステムの質的向上を目的に環境委員会の環境マネジメントワーキングで作成した「環境法令・マネジメントチェックシート」の会員への普及を図った。加えて、CO₂排出量の見える化を推進するため、「牛乳」のCO₂排出量簡易算定ツールを作成しホームページに掲載した。

容器包装3Rへの対応では、軽量化仕様500ml牛乳用パックの普及を促進するとともに、当協会として全国牛乳容器環境協議会の取り組みを支援し、紙パック回収率の向上に取り組んだ。

第五：乳業事業の改善と合理化の推進

農林水産省が公募する「乳業再編整備事業」に応募し採択された。7月から9月に地域説明会を開催し、内容の周知徹底と再編支援を行った。

5年に一度の酪肉近代化基本方針策定について、食料・農業・農村政策審議会畜産部会の委員として乳協会長が参画し、乳業基本問題検討委員会等における議論を踏まえ、乳業者意見の反映を行った。

II. 事業内容

1. 品質及び安全性の向上による消費者の安心・信頼の確保

1) 牛乳及び乳製品の衛生並びに品質の向上に関する事業

(1) 乳業施設の衛生管理体制強化のための取り組み

①衛生講習会の開催（都道府県協会との共催）

7月～11月に、全国15の各都道府県協会と日本乳業協会の共催で事業計画に沿って実施した。15回の開催で参加者405名（昨年度432名）。また、参加できない企業から、テキストのみの送付依頼があり対応した。

②官能評価員育成研修会の開催

7月～3月に、東京4回、神戸2回の研修会を開催した。風味異常への関心の高まりもあり総受講者数は143名、前年度より5名増加した。

③HACCP講習会の開催

5月に改正された「管理運営基準の指針」で新たに規定された「HACCP導入型基準」に対応した手引書（一般モデル）を作成する作業部会としてHACCP検討小委員会を6回開き、牛乳および乳飲料の一般モデルを作成した。

講習会は、2月・3月に東京及び神戸で「HACCP導入型基準講習会」（一日コース）として3回開催した。従来のHACCP専門家を養成する講習会とは異なり、条例改正を契機にHACCP導入に積極的に取り組む経営者または乳・乳製品製造に従事する品質・製造責任者の受講を優先した。受講者数は62名。

④牛乳微生物講習会の開催

乳処理施設の微生物検査担当者・製造担当者を対象に、工程の微生物管理に必要な細菌類の知識並びに、微生物検査技術の実際についての理解を深めるなど実践的な内容とし、微生物起因事故の削減を目標にした。

講義Ⅰの「微生物管理の実際」については、講師が変わりテキスト内容も製造工程検出菌のデータ等を追加して改訂した。10月に東京、11月に大阪で実施し、受講者数は143名であった（昨年度132名）。

(2) 牛乳・乳製品の安全確保に係わる取り組み

①放射性物質、病原微生物、有害化学物質等対応

- ・農畜水産物等の放射性物質検査結果・厚生労働省の食中毒発生状況などの情報を講習会等の資料として共有化を図った。
- ・食品安全委員会において、「高濃度にジアシルグリセロール（DAG）を含む食品の安全性」についての評価結果がとりまとめられ、実験動物による試験等、現在知られている知見からは直接健康影響を示唆するものではないと判断された。

②会員、消費者等に対する安全確保に関する情報の提供

会員に対し下記の情報を連絡した。

- ・農林水産省：衛生管理の徹底と事故発生時における情報共有化について（依頼）（5月2日付）
- ・厚生労働省：食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針（ガイドライン）の改正について（5月12日及び10月14日付）、乳及び乳製品の成分規格等に関する省令及び食品、添加物等の規格基準の一部改正について（12月22日及び12月25日付）、リステリア・モノサイトゲネスに関するQ&Aについて

(12月25日付)

- ③ Jミルクの生乳検査の精度管理制度への協力
 - ・ Jミルク主催の生乳検査精度管理委員会に出席(10月31日)
- ④ Jミルクの生乳段階での残留農薬等の安全性確保事業への協力と製品である「牛乳」の残留農薬等の検査の実施
 - ・ Jミルク主催のポジティブリスト委員会に出席(9月4日)
 - ・ 生乳段階の平成26年度の検査は、Jミルクが81検体174件実施し、検査結果は全て基準値以下であった。当協会では全国7地域で製造された「牛乳」7検体35件の残留農薬等検査を実施し、結果は全て基準値以下であった。

(3) 牛乳・乳製品の表示に係わる取り組み

- ① 消費者庁の食品表示規制改正作業への協力と会員への情報提供
 - ・ 食品表示基準(案)のパブリックコメントがあり、会員意見を集約して意見提出(8月8日)
 - ・ 機能性表示食品の食品表示基準(案)のパブリックコメントがあり、会員の意見を集約して提出(9月26日)
 - ・ 乳及び乳製品並びにこれらを主要原料とする食品の表示の基準に関する内閣府令の一部改正について(1月9日付)
 - ・ 内閣府令第十号、第十一号(食品表示基準等の公布3月20日付)
- ② 関係公正取引協議会等との連携
 - ・ 全国飲用牛乳公正取引協議会「専門部会」に出席(6月25日、2月6日)
- ③ 乳製品(クリーム、バター、脱脂粉乳、全粉乳、練乳類)及び乳等を主原料とする食品の表示ガイドラインの運用
 - ・ 乳製品表示検討委員会を1月27日に開催し、平成26年度事業として市販品の調査を実施。37件の商品調査を行ない表示の適切性について審査(従来基準による)した。新たな食品表示基準を踏まえた審査は、食品表示基準施行後の平成27年4月に行うこととし、不適切表示が判明した製品について、会社の責任者に表示是正への協力を求めていく。
 - ・ 4月1日に食品表示基準が施行されるのに伴い、「乳製品表示検討委員会」で、公正競争規約が設定されていない乳製品等の表示ガイドライン見直しに着手した。飲用牛乳公正取引協議会やチーズ公正取引協議会等との整合性を確保するため27年度内の見直しを計画する。
 - ・ 牛乳・乳製品の表示に関する会員からの問合せ対応を実施(35件対応)

(4) 牛乳及び乳製品の規格基準改定に関する取り組み

- ① 厚生労働省の乳等省令改正作業への協力

- ・乳等省令の一部改正(生乳比重、成分調整牛乳酸度等)のパブリックコメントの意見募集があり会員へ情報提供を行なったが、特段の意見はなかった。(9月)

- ・12月25日「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の一部を改正する省令」が公布され、情報共有を行った。

②調製粉乳における微量栄養素の添加物指定作業への協力

- ・厚生労働省が進めている調製粉乳に不足する栄養素セレンの、添加物指定作業に協力。セレン分析方法の情報提供、「亜セレン酸ナトリウム規格基準概要書」提出を行った。平成27年1月19日から添加物専門調査会栄養成分関連添加物ワーキンググループが開かれている。ヨウ素についても文献翻訳等の準備を進めている。

- ・消費者庁の「特別用途食品の表示許可等の一部改正について」(ビオチンの添加)打合せ(6月12日、7月2日)

③コーデックス規格(国際食品規格)策定への参画

食品産業センターの食品産業コーデックス対策委員会、国際酪農連盟日本国内委員会(JIDF)の活動に参加した。

- ・食品産業センターコーデックス対策委員会に出席した。(7月1日、10月1日、1月21日、3月31日)

2) 牛乳等衛生功労者の表彰

8月1日(金)に選考会、11月14日(金)に表彰式を開催した。

平成26年度の被表彰者、被贈呈者は以下のとおり。

厚生労働大臣表彰： 2名

会長表彰： 13名

会長感謝状： 5名

2. 牛乳・乳製品の普及啓発と需給の均衡

1) 牛乳及び乳製品に関する知識の普及啓発に関する事業

牛乳・乳製品に対する消費者の満足・信頼の確保に向け、以下の6項目について、迅速・的確且つ能動的な活動を行っている。

(1) 迅速正確な消費者相談業務の推進

牛乳・乳製品に関する正しい知識普及や啓発のため、引き続き、随時迅速、正確、丁寧な対応を行っている。また、問い合わせ内容のトレンド把握、対応の正確さの維持向上に向けた会員企業各社との情報交換を実施している。

平成26年度の相談件数は1,599件(平成25年度は1,565件)であった。

さらに、問合せ対応の充実を図るために相談員の研修等を行った。

(2) 乳協会員及び関係団体との連携強化の推進

乳協会員共通課題について、会員と連携を取りながら、消費者、行政、メディア等ステークホルダーに対し積極的な対応を進めている。普及啓発活動に関しては、関係団体等との目的の共有化、業務の棲み分け、連携等に関し情報交換を行い、効率的運営を行なうべく検討を進めている。Jミルク、中酪との連携として関連資料の共有化、各々のセミナーにおける相互協力等を行っている。実施例としては以下の通り。

- ・「おいしいミルクセミナー」におけるJミルク、中酪の後援
中酪：PRスピーチとブース出展 6月 3地区
- ・Jミルク「酪農乳業食育研修会」
「乳業者における（食育の）取組みについて」口頭発表 6月27日
- ・Jミルク「牛乳食育研修会」の講師選定の協力
鹿児島、徳島など全国5地区 9月～11月
- ・Jミルク「牛乳ヒーロー&ヒロインコンクール」後援と日本乳業協会による「乳業工場賞」の授与 11月29日
- ・Jミルクが取りまとめた牛乳・製品の栄養健康機能（エビデンス）情報の乳協会員への周知（乳協HP等で）

(3) 放射性物質に関する正しい知識啓発と理解の促進

牛乳・乳製品の放射性物質に対し、依然不安視する消費者に対しては、丁寧かつ粘り強いリスクコミュニケーションを継続して実施した。

(4) 普及啓発ツールの管理と内容の検討

牛乳・乳製品の普及啓発に向け、リーフレット・資料の作成及び見直し、ホームページによる正しい知識の情報発信を行った。なお、リーフレット類の作成は在庫量を勘案し、必要量を5月末に一括作成した。その結果昨年と比べ作成単価の低減が図れた。

(5) 「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」の充実

平成24年度からオピニオンリーダーを情報発信力のある11名（平成23年度は21名）とし、少人数による活性化を図った。その結果、参加発言スタイルに変わり、活発な発言の場となった。なお、第78回から酪農乳業ペンクラブ会員もオブザーバーとして参加を認めることとした。

○第78回牛乳・乳製品から食と健康を考える会（5月19日実施）

テーマ：「北海道酪農の現状と今後の方向性」

講演者：ホクレン代表理事常務 板東 寛之氏

- 第79回牛乳・乳製品から食と健康を考える会（8月25日実施）

テーマ：「発酵食品としてのチーズの機能特性や楽しみ方」

講演者：日本獣医生命科学大学応用生命科学部 阿久澤 良造教授

- 第80回牛乳・乳製品から食と健康を考える会（11月17日実施）

テーマ：「乳和食の意義と今後の展開」

講演者：一般社団法人Jミルク参事 佐野 晴彦 氏

- 第81回牛乳乳製品から食と健康を考える会（2月9日実施）

テーマ：「ミルクは何故白いのかーその白さの奥に広がる神秘の世界ー」

講演者：雪印メグミルク ミルクサイエンス研究所 堂迫 俊一 氏

(6) 専門紙・ペンクラブとの相互協力による迅速な情報収集と発信

- ・7月10日～11日に、酪農乳業ペンクラブの総会と併せて中部地区の森永乳業中京工場と地域に根ざした地場乳業メーカーである大内山酪農協の工場を視察・研修を実施した。

- ・8月25日の「考える会」終了後、ペンクラブ夏季懇談会を開催し、記者、乳業メーカー広報担当と乳業協会による情報発信や今後の取材テーマ等の情報交換を実施した。

- ・11月25日に酪農乳業ペンクラブ秋季研修会を実施した。

テーマ：「最近の牛乳乳製品をめぐる情勢について」

講師：農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課 森 重樹 課長

ペンクラブ参加：14社・14名 メーカー2社・3名

- ・2月4日に酪農乳業ペンクラブ新年懇談会・見学会を実施した。

見学先：(株)日本アクセス伊那チルドセンター

ペンクラブ参加：16社・16名 メーカー3社・4名

《マスコミ取材対応（主なもの（カッコ内は日付））》

- バター需給（品薄）について

記事掲載・TV報道：酪農経済通信(8/7) 酪農乳業速報(8/7)、日刊食品通信(8/7)、全国酪農協会ホームページ(8/10)、日本農業新聞(8/13)、朝日新聞(8/14、9/24)、日本経済新聞(9/3、12/18)、日本農業新聞(9/27)、NHKなど

取材：新聞関係9社16件、TV関係12社18件、雑誌等7社7件

- 生乳需給全般について

記事掲載：日本農業新聞(8/25)

取材 : 酪農乳業速報(6/27)、日本農業新聞(8/19)

○牛乳異臭問題について

記事掲載 : 産経新聞(6/26)

○酪農乳業の課題と乳協の取組みについて

記事掲載 : 酪農経済速報(9/8)、デイリーマン9月号、
酪農経済通信(新年特集号)

○体細胞取引について

取材 : 農業新聞(1/19)

2) 牛乳・乳製品の食文化を育成・啓発する事業(公益目的支出計画)

(1) おいしいミルクセミナーの開催

平成25年度は開催回数を4回として実施したが、予算(平成26年度は前年度の総費用を25%削減)を勘案し3回実施した。

また、若い子育て世代が参加しやすいよう、開始時間を早めて午前(10:00)に変更した。いずれの会場も定員を大きく上回る応募者があり、各地方協会の企業会員の協力をいただくなかで、充実したイベントとすることができた。開催実績は以下の通り。

| 期日 | 場所 | 参加者/応募者 | 後援・協賛 |
|-------|--------|----------|--------|
| 6月5日 | 群馬県高崎市 | 289/366名 | 8企業2団体 |
| 6月13日 | 岩手県盛岡市 | 366/438名 | 6企業2団体 |
| 6月30日 | 大分県大分市 | 311/457名 | 7企業2団体 |

(2) 工場見学会開催の推進と支援

より多くの消費者に工場を見て身近に感じていただくために、6月の「牛乳月間」のみに絞り込まず、年間を通して実施している小学生等による工場見学、工場独自のイベント等に対しても、予算を踏まえてPR資料、グッズの支援等を行った。本年度は51工場の参加であった(昨年度44工場の参加)。また、工場見学等で使用するPR資料、グッズを依頼のあった49施設に送り、活用いただいた。

(3) 食育授業等による牛乳・乳製品の食文化を育成する事業

①小中高校生を対象とする食育授業(通年)

相談員による食育授業を推進する。開催数は、200回を計画。

今年度の実施回数は209回。

②学校・教育・食育関係者を対象とする食育勉強会(通年)

開催数は、70回を計画。今年度の実施回数は、相談員2名の交替による

影響もあり60回。

③栄養を専攻する大学生を対象とする3-A-Day実践・推進セミナー

開催数は8回を計画。12月16日の実践女子大をもって実施校は8大学。

④市民講座や料理学院等への相談員派遣業務（通年）

派遣回数は10回を計画。今年度の実施回数は21回。

⑤都道府県協会会員との協同による育成・啓発活動

- ・本事業は平成23年度からの実施事業で、都道府県協会会員主催の「畜産フェア」等のイベントで「骨密度測定」や相談員による栄養指導を実施し、牛乳・乳製品の普及・育成・啓発を推進した。平成26年度は10協会から申し込みを受け、全件を採択した。実施状況は、以下の通り。

| 協会名 | 実施日 | イベント名 | 来場者数 |
|--------------|------------------|----------------------------|----------------|
| 京都府牛乳協会 | 9月3・4日 | 京都府立田辺高校学校祭 | 408名 |
| | 11月9日 | 動物感謝デイ in KYOTO | 72名 |
| 岩手県牛乳協会 | 9月20・21日 | ミルクフェア2014いわて | 200名 |
| 鳥取県牛乳協会 | 9月28日 | 大山まきば祭 | 355名 |
| (一社)埼玉県乳業協会 | 10月4日 | 彩の国牛乳乳製品フェア2014 | 236名 |
| (一社)神奈川県乳業協会 | 10月11・12日 | 牛乳大好き・骨密度測定事業 | 946名 |
| (一社)広島県乳業協会 | 10月25日 | ひろしまフードフェスティバル | 100名 |
| 和歌山県牛乳協会 | 10月26日 | 平成26年度 わかやま食と健康フェア | 236名 |
| 秋田県牛乳協会 | 10月30日～ 11月3日 | ミルクフェア2014 | 1400名 |
| 愛知県牛乳協会 | 11月6日 | 愛知県立加茂丘高等学校 高校生の骨密度測定体験 | 164名 (含教職員) |
| (一社)福岡県牛乳協会 | 3月1日 | 平成26年度 学校給食フェア | 142名 (親子) |

総数4,259名

⑥「やなせたかしキャラクター」の使用権

継続使用に関し、「キャラクターマーク広告使用契約書」の締結を行った。

会員各位および関係団体各位に、「やなせたかしキャラクター」の積極的な活用を図った。具体的には、上期および下期のブロック会議において、都道

府県会員へ活用を呼びかけた。なお、「3-A-Day」のロゴマークはJミルクから商標権を継承しキャラクターと合せて継続使用することとした。

3) 需給の均衡

(1) 牛乳・乳製品の需給予測

年間で4回実施予定の需給委員会の第1回を5月13日に第2回を9月3日に第3回を12月11日に第4回を2月25日に開催し、需給予測結果をホームページに掲載した。今年度は、生乳生産減少等の影響からバター・脱脂粉乳ともに在庫が逼迫することが予想されたが、バター10,000トン、脱脂粉乳10,000トンの追加輸入実施により年度末在庫は昨年度末より増加する見込み。しかし、生乳生産動向等によって需給状況が変化することも予想されるため、今後の推移を注視していきたい。

(2) 乳製品需給の過不足対応

5月13日・9月3日・12月11日・2月25日の需給委員会開催後、予測結果を農林水産省と農畜産業振興機構に報告した。バター及び脱脂粉乳については、期首在庫水準を期末に維持するためには、前倒しで輸入が決定されている物量以外に、バター約10,000トン・脱脂粉乳約15,000トンの輸入が必要であり、カレント枠だけでは対応できないため追加輸入で対応してほしい旨要請した。その結果、5月21日に農林水産省はカレント残枠で脱脂粉乳4,178トン、追加でバター7,000トンの輸入を決定した。

しかし、この輸入分をもってしても生乳生産回復の遅れ等により不足を解消できない状況のため、8月4日に乳協会長名で農林水産省牛乳乳製品課長宛にさらなる追加輸入の要請書を提出した。これを受けて、9月26日に農林水産省は、年度内にバター3,000トン、脱脂粉乳10,000トンの追加輸入放出することを決定した。

そうした対応をもってしても昨年末には「バターの品薄」が社会的問題として多く報道され、11月27日付で農林水産省から乳協等乳業3団体に対してバターの安定供給についての依頼があった。これを受けて、12月4日に乳業3団体連名で農林水産省に対してバターの安定供給についての報告を実施した。

農林水産省は1月23日、平成27年度カレントアクセス分としてバター2,800トン、脱脂粉乳10,000トンの輸入を前倒しで公表するとともに、バターについて輸入時期の明確化等輸入における運用改善を明らかにした。

3. 国際化の進展への対応

1) 業界意見の集約（乳業基本問題検討委員会）

合意した日豪EPAについて会員への理解を図るとともに、TPPについては国主催のTPP交渉に関する説明会に出席し、情報収集に努めた。

今後も、TPP等の国際交渉の進捗状況を見極めながら、必要に応じて乳業基本問題検討委員会を開催し、情報発信と意見集約を適宜行う。

2) 行政への提言・意見具申

日豪EPA合意内容について、農林水産省に説明を求めた。今後も、様々な情勢を見極めながら、乳業界としての意思を速やかに農林水産省や農畜産業振興機構、管轄省庁に伝達していく。

4. 環境・リサイクル対策の推進

1) 環境問題への取り組みに関する事業

(1) 地球温暖化防止の取り組みに関する事業

協会では、経団連で進めている低炭素社会実行計画ワーキンググループの一員として、2020年度に向け「2012年度(指数：1.16)を基準年度として、年率1%以上のエネルギー使用原単位指数を削減し1.07以下にする」との目標を定め、環境委員会が中心となり取り組みを推進した。

2013年度実績は、エネルギー使用原単位指数が1.10と前年比5.2%低下、またCO₂排出量も▲5万トと前年比4.2%減少した。これは生産量、製品構成等が前年とほぼ同様であったのに対し、会員各社の省エネ努力により、エネルギー使用量が▲5.5%と大幅に減少したことが起因した。これらの結果と各社の取り組み実績および対策事例等を取りまとめ、低炭素社会フォローアップ報告書として10月10日、経団連に提出した。12月に経団連より自主行動計画参加55業種のフォローアップ報告書が公表されたので、会員サイトHPにて紹介した。

また、経団連から2030年度に向けてのフェーズII目標設定の要請があり、協会としては「CO₂排出量を年率1%以上削減し、2030年度には100万トン以下、2012年度比16%以上削減する」目標を提出した。

(2) 循環型社会形成推進の取り組みに関する事業

協会では、経団連で進めている循環型社会形成ワーキンググループの一員として、2015年度を最終年度とした「最終処分量6,000ト以下、再資源化率96%以上にする」との目標および2020年度に向けて「最終処分量900ト以下、再資源化率97%以上にする」との目標を定め、自主行

動計画推進ワーキンググループを立上げ、取り組みを推進した。具体的には、地域ごとの廃棄物削減、処理コスト削減等7つの共同プロジェクトを立上げ、内容・進捗状況等を会員サイトHP等を通じて紹介し、参加を呼びかけた。

2013年度実績は、これらプロジェクトおよび各社の余剰汚泥削減、動植物性残渣削減、廃プラの分別徹底等の取り組み効果によって、最終処分量が935ト、再資源化率は97.01%と、いずれも目標値を大幅にクリアした。結果についてはフォローアップ報告書に取りまとめ、12月25日、経団連に提出した。

(3) 牛乳CO₂排出量の見える化の取り組みに関する事業

生乳、原料工程から廃棄、リサイクル工程までを含む「牛乳」のライフサイクルを通じたCO₂排出量を会員が算定できるように「CO₂排出量簡易算定ツール」を作成し、会員サイトHPに掲載した。これにより会員の各工場、事業所等でCO₂排出量の算定が可能となり、会員への利用普及を推進した。

(4) 環境マネジメントシステムの向上に関する事業

当協会環境委員会の環境マネジメントワーキンググループにおいて、乳業メーカーの工場、事業所、物流および酪農部門等に関係した環境法令、条文等を抽出し、それを基に「環境関連法令マネジメントチェックシート」を作成し、1月15日に会員サイトHPに掲載した。本チェックシートは従来と異なり、関連法案および装置・機器からの2通りのチェックを可能とした。

2) 容器包装の3Rへの対応に関する事業

(1) 飲料用紙パックリデュース活動の推進

「500ml牛乳用紙パックで使用する原紙を、2015年度までに約3%軽量化する」との目標を共有し、軽量化仕様500ml牛乳用紙パックの普及促進を進めた。2013年度実績は全使用量に対し平均1.6%の軽量化(達成率; 約53%)であった。前年実績の1.0%の軽量化と比較し0.6ポイントの改善であった。10月21日、乳業メーカーと紙パックメーカー合同の推進会議を開催し、2013年度実績の報告と3%達成に向けての対応策について打合せを行った。1月に会員サイトHPに「リデュース取り組み2014年度版進捗状況報告書」を掲載し、取り組みへの協力を呼びかけた。

(2) 飲料用紙パックリサイクル活動の推進

協会として、全国牛乳容器環境協議会の取り組みであるPLAN2015の「2015年度までに紙パック回収率を50%以上にする」の自主行動計

画活動の支援を行った。2013年度実績は44.6%で前年度から0.4ポイント改善であった。回収率は統計を取り始めた1994年の19.9%から2007年の41.1%まで年平均+1.6ポイントであったが、その後2013年度までの6年間は、年平均+0.5ポイントとなっている。環境イベントへの出展、自治体・市民団体との意見交換会、小学校での出前授業等を通して普及活動の推進・支援を行った。

(3) 各種団体活動への参画

容器包装リサイクル法、食品リサイクル法等の審議、改正に向けての対応を行うとともに、食品産業センター環境委員会、容器包装リサイクル分科会および3R推進団体連絡会等の活動に参画した。7月から8月にかけて容り法および食り法のパブコメ募集があり、会員へは会員サイトHPを通じて案内と意見募集を行い、乳協としての意見・要望を合計7件（容り法；6件、食り法；1件）取りまとめて提出した。内容は8月22日に会員サイトHPに掲載した。

また、3R活動の一環として、食産センター環境委員会の中の「環境配慮設計推進ワーキング」において、業界・消費者に対する食品容器包装の環境配慮設計の普及啓発活動を推進した。

5. 乳業事業の改善と合理化の推進

1) 「食料・農業・農村基本計画」「酪肉近基本方針」等の推進に係る対応

「酪肉近基本方針」の見直し議論が昨年2月より食料・農業・農村政策審議会畜産部会で始まり、平成26年度第1回が4月24日に開かれ、以降、第12回まで開催され（第8回は補給金単価、交付対象数量などの諮問案の審議）、新たな「酪肉近基本方針」が策定された。昨年5月までは中野前会長が、6月以降は川村現会長が畜産部会に臨時委員として参画し、乳業基本問題検討委員会などの議論を踏まえて乳業者としての意見の反映を行った。

今後は新たな基本方針で示された乳業関連の課題に対応するため乳業基本問題検討委員会を適宜開催し、迅速に対応していく。また、必要に応じて行政との意見交換を実施する。

2) 乳業再編事業への参画と推進

農林水産省が公募する「新技術活用型乳業再編合理化推進事業」に対して昨年3月6日に応募し、4月28日に計画が採択された。7月17日に全国協議会、企画検討委員会を開催、7月～9月に全国8農政局・農政事務所管内で説明会を実施した。また、取り組みを強化するため、農林水産省から都道府県に対して別

途説明会が実施された。

3) 学校給食用牛乳供給事業制度の円滑な推進

Jミルクの学乳問題特別委員会に参画し、学乳事業の継続を柱とした学乳の安定供給と安全性確保に向け、考え方の整理や国に対する要請内容の取りまとめを行った。また、食育等については乳協主体の取り組みを実施した。

4) 牛乳乳製品輸出準備分科会の設置

既に輸出促進活動がある程度進められている牛肉を中心に、これから輸出促進を進めようとしている豚肉、鶏卵、鶏肉、牛乳乳製品を含む国産畜産物について、オールジャパンの輸出促進を一層強化することを目的とした「日本畜産物輸出促進協議会」が昨年12月に設立された。牛乳乳製品については当協議会の下部組織として設置された「牛乳乳製品輸出準備分科会」を中心に輸出促進に向けた検討が行われることになった。

5) 「租税・融資等の諸制度」に関する対応

国は、経済状況等を総合的に勘案した上で、平成27年10月1日からの消費税10%へのアップを1年半先送りすることを決定した。今後、軽減税率等に関する議論が行われる可能性が大きいことから、情報収集および必要に応じて他団体と連携して意見具申を行う。

6. 事業共通の取り組み

1) ブロック会議及び全国事務局長会議の開催

(1) ブロック会議について

①平成26年度上期ブロック会議

- ・6月26日～8月27日にかけて全国8ブロックで開催
- ・平成26年度事業計画、進捗状況についての説明と質疑応答

②平成26年度下期ブロック会議

- ・平成27年2月17日～3月18日にかけて全国8ブロックで開催
- ・平成26年度活動状況、平成27年度事業計画についての説明と質疑応答

(2) 全国事務局長会議について（12月12日開催）

- ・平成26年度中間事業報告説明
- ・平成27年度事業計画骨子説明
- ・各都道府県協会からの要望、質疑応答

2) ホームページの充実、情報伝達の迅速化の更なる推進

(1) 「各省庁、他団体からの発信情報」、「協会運営、会議情報」、「講習会情報」、「ブロック会議における要望・質問と回答」、「需給予測」等迅速に掲載した。

(2) 12月25日にホームページのリニューアルを実施した。情報の分類・整理を行い、分かり易く、使い勝手を良くすることを目指した。

・トップ画面のデザイン変更、乳製品検索方法の一新、プレスリリース新設、日本乳業年鑑2014年版のPDFファイル掲載等

以 上

《会議等開催実績》

I. 総会及び理事会等

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|----------------------|
| 平成26年 4月18日 | 第13回理事会 |
| 〃 5月16日 | 第3回定時社員総会 |
| 〃 16日 | 第14回理事会 |
| 〃 8月1日 | 第15回理事会 |
| 〃 1日 | 平成26年度牛乳等衛生功労者表彰式選考会 |
| 〃 9月5日 | 正副会長会議 |
| 〃 10月17日 | 第4回賛助会員の会 |
| 〃 11月14日 | 正副会長会議 |
| 〃 14日 | 第16回理事会、会員企業代表者会議 |
| 〃 14日 | 牛乳等衛生功労者表彰式 |
| 〃 12月12日 | 全国事務局長会議 |
| 平成27年 1月6日 | 乳業団体合同新年賀詞交換会 |
| 3月6日 | 第17回理事会 |

II. その他

1. 会員の総会等への出席

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|----------------------------------|
| 平成26年 4月23日 | 九州牛乳協会総会（福岡市） |
| 〃 5月9日 | 長野県牛乳協会総会（長野市） |
| 〃 20日 | 一般社団法人全国牛乳流通改善協会創立40周年記念祝賀会（東京都） |
| 〃 26日 | 茨城県乳業協会総会（水戸市） |

2. ブロック会議

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-----------------|
| 平成26年 6月26日 | 関東・甲信越地区（於：群馬県） |
| 〃 7月4日 | 東北地区（於：秋田県） |
| 〃 10日 | 近畿地区（於：大阪府） |
| 〃 14日 | 中国地区（於：広島県） |
| 〃 16日 | 四国地区（於：高知県） |
| 〃 18日 | 北海道地区（於：札幌市） |
| 〃 8月11日 | 東海・北陸地区（於：静岡県） |
| 〃 27日 | 九州・沖縄地区（於：福岡県） |
| 平成27年 2月17日 | 関東・甲信越地区（於：東京都） |
| 〃 19日 | 東海・北陸地区（於：三重県） |
| 〃 20日 | 近畿地区（於：大阪府） |
| 〃 24日 | 東北地区（於：岩手県） |
| 〃 3月4日 | 九州・沖縄地区（於：福岡県） |
| 〃 9日 | 中国地区（於：広島県） |
| 〃 13日 | 北海道地区（於：札幌市） |
| 〃 18日 | 四国地区（於：香川県） |

Ⅲ. 企画・広報部

【企画関係】

1. 乳業基本問題検討委員会関連

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-------------------------------|
| 平成26年 8月19日 | 牛乳乳製品課との意見交換会（生乳及び乳製品需給等について） |
| 〃 9月18日 | 第1回 乳業基本問題検討委員会 |
| 〃 30日 | 牛乳乳製品課との意見交換会（生乳及び乳製品需給等について） |
| 〃 10月30日 | 第2回 乳業基本問題検討委員会 |

2. 需給委員会関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-------------------|
| 平成26年 5月13日 | 第1回 牛乳・乳製品需給検討委員会 |
| 〃 9月 3日 | 第2回 牛乳・乳製品需給検討委員会 |
| 〃 12月11日 | 第3回 牛乳・乳製品需給検討委員会 |
| 平成27年 2月25日 | 第4回 牛乳・乳製品需給検討委員会 |

3. TPP関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|----------------------|
| 平成26年 6月 2日 | TPP説明会（シンガポール閣僚会合報告） |
| 〃 7月28日 | TPP説明会（主席交渉官会合報告） |
| 〃 10月10日 | TPP説明会（主席交渉官会合報告） |
| 〃 11月25日 | TPP説明会（閣僚会合報告） |
| 平成27年 2月16日 | TPP説明会（主席交渉官会合報告） |

4. 乳業再編事業関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|------------------|
| 平成26年 5月29日 | 企画検討委員会 |
| 〃 7月17日 | 全国協議会・企画検討委員会 |
| 〃 23日 | 東北農政局管内・地域説明会 |
| 〃 30日 | 東海農政局管内・地域説明会 |
| 〃 8月 5日 | 近畿農政局管内・地域説明会 |
| 〃 21日 | 北海道農政事務所管内・地域説明会 |
| 〃 26日 | 北陸農政局管内・地域説明会 |
| 〃 9月 2日 | 関東農政局管内・地域説明会 |
| 〃 4日 | 九州農政局管内・地域説明会 |
| 〃 5日 | 中国四国農政局管内・地域説明会 |
| 平成27年 3月12日 | 全国協議会・企画検討委員会 |

5. 「食料・農業・農村基本計画」「酪肉近基本方針」推進関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-----------|
| 平成26年 4月24日 | 第1回 畜産部会 |
| 〃 5月27日 | 第2回 畜産部会 |
| 〃 7月 3日 | 第3回 畜産部会 |
| 〃 31日 | 第4回 畜産部会 |
| 〃 8月29日 | 第5回 畜産部会 |
| 〃 10月 8日 | 第6回 畜産部会 |
| 〃 11月28日 | 第7回 畜産部会 |
| 平成27年 1月14日 | 第8回 畜産部会 |
| 〃 29日 | 第9回 畜産部会 |
| 〃 2月19日 | 第10回 畜産部会 |

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-----------|
| 平成27年 3月20日 | 第11回 畜産部会 |
| 〃 25日 | 第12回 畜産部会 |

6. Jミルク事業関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|---------------|
| 平成26年 5月21日 | 第1回 Jミルク需給委員会 |
| 〃 7月17日 | 第2回 Jミルク需給委員会 |
| 〃 10月15日 | 第3回 Jミルク需給委員会 |
| 平成27年 1月14日 | 第4回 Jミルク需給委員会 |

【広報関係】

1. 広報委員会

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|----------|
| 平成26年 5月21日 | 第1回広報委員会 |
| 〃 12月16日 | 第2回広報委員会 |
| 平成27年 3月31日 | 第3回広報委員会 |

2. 連絡会議関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-----------|
| 平成26年 4月 9日 | 4月度関西連絡会 |
| 〃 10日 | 4月度東京連絡会 |
| 〃 5月13日 | 5月度東京連絡会 |
| 〃 6月10日 | 6月度東京連絡会 |
| 〃 11日 | 6月度関西連絡会 |
| 〃 7月 8日 | 7月度東京連絡会 |
| 〃 8月 6日 | 8月度関西連絡会 |
| 〃 12日 | 8月度東京連絡会 |
| 〃 9月 9日 | 9月度東京連絡会 |
| 〃 10月 7日 | 10月度東京連絡会 |
| 〃 8日 | 10月度関西連絡会 |
| 〃 11月 6日 | 11月度東京連絡会 |
| 〃 12月 5日 | 12月度東京連絡会 |
| 〃 10日 | 12月度関西連絡会 |
| 平成27年 1月 8日 | 1月度東京連絡会 |
| 〃 2月10日 | 2月度東京連絡会 |
| 〃 18日 | 2月度関西連絡会 |
| 〃 3月10日 | 3月度東京連絡会 |

3. 酪農乳業ペンクラブ関係

| 開催日 | 開催名 |
|--------------|--------------|
| 平成26年 4月16日 | 幹事会 |
| 〃 5月 8日 | 春季勉強会 |
| 〃 7月10日(2日間) | 総会・研修会(中部地区) |
| 〃 28日 | 幹事会 |
| 〃 8月25日 | 夏季懇談会 |
| 〃 10月 6日 | 幹事会 |
| 〃 11月25日 | 秋季研修会 |
| 〃 12月15日 | 幹事会 |
| 平成27年 2月 4日 | 新年懇親会・研修会 |

4. 「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-------------------------|
| 平成26年 5月19日 | 第78回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」 |
| 〃 8月25日 | 第79回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」 |
| 〃 11月17日 | 第80回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」 |
| 平成27年 2月 9日 | 第81回「牛乳・乳製品から食と健康を考える会」 |

5. Jミルク事業関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|------------------|
| 平成26年 7月10日 | 第2回「マーケティング委員会」 |
| 〃 9月12日 | 第3回「マーケティング委員会」 |
| 〃 12月 3日 | 牛乳の日・牛乳月間関係団体打合せ |
| 〃 19日 | 第4回「マーケティング委員会」 |
| 平成27年 1月29日 | 第5回「マーケティング委員会」 |

IV. 生産技術部

1. 生産技術委員会

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 平成26年 6月12日 | 特別用途食品の改正(ビオチン添加)について消費者庁食品表示企画課と打合せ |
| 〃 7月 2日 | 特別用途食品の改正(ビオチン添加)について消費者庁食品表示企画課と打合せ(2回目) |
| 〃 8月 8日 | 食品表示基準(案)のパブコメ原案に対する意見提出 |
| 〃 9月26日 | 「食品の新たな機能性表示制度に係る食品表示基準(案)について」パブコメの意見提出 |
| 〃 30日 | 「健康被害につながるおそれか否定できない」苦情に対する「食品事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針」の改正についてパブリックコメントの意見提出 |
| 〃 12月 9日 | 第1回生産技術委員会開催 |

2. 乳製品表示検討委員会

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|---------------|
| 平成27年 1月27日 | 第1回乳製品表示検討委員会 |

3. HACCP検討小委員会

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|----------------|
| 平成26年 5月 9日 | 第1回HACCP検討小委員会 |
| 〃 6月13日 | 第2回HACCP検討小委員会 |
| 〃 7月18日 | 第3回HACCP検討小委員会 |
| 〃 8月26日 | 第4回HACCP検討小委員会 |
| 〃 10月 8日 | 第5回HACCP検討小委員会 |
| 〃 11月12日 | 第6回HACCP検討小委員会 |

4. 牛乳衛生講習会(地方協会との共催)

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|------------------|
| 平成26年 7月10日 | 牛乳衛生講習会(東京都千代田区) |
| 〃 23日 | 〃(山形県西村山郡河北町) |
| 〃 8月12日 | 〃(静岡県静岡市) |
| 〃 19日 | 〃(岐阜県岐阜市) |
| 〃 20日 | 〃(愛知県名古屋市) |
| 〃 21日 | 〃(群馬県前橋市) |

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|------------------|
| 平成26年 8月25日 | 牛乳衛生講習会 (福岡県福岡市) |
| 〃 27日 | 〃 (埼玉県さいたま市) |
| 〃 9月10日 | 〃 (香川県高松市) |
| 〃 18日 | 〃 (岩手県岩手郡雫石町) |
| 〃 25日 | 〃 (広島県広島市) |
| 〃 10月 3日 | 〃 (北海道札幌市) |
| 〃 7日 | 〃 (福島県福島市) |
| 〃 11月 4日 | 〃 (長野県長野市) |
| 〃 7日 | 〃 (千葉県千葉市) |

5. HACCP講習会

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|----------------------|
| 平成27年 2月25日 | 第1回HACCP導入型基準講習会(東京) |
| 〃 26日 | 第2回HACCP導入型基準講習会(東京) |
| 〃 3月 4日 | 第3回HACCP導入型基準講習会(神戸) |

6. 官能評価員育成研修会

| 開催日 | 開催名 |
|------------------|--------------------------|
| 平成26年 7月24日(2日間) | 官能評価員育成研修会 (第1回 東京都千代田区) |
| 〃 8月 7日(2日間) | 〃 (第2回 東京都千代田区) |
| 〃 10月 9日(2日間) | 〃 (第3回 兵庫県神戸市) |
| 平成27年 1月29日(2日間) | 〃 (第4回 東京都千代田区) |
| 〃 2月19日(2日間) | 〃 (第5回 兵庫県神戸市) |
| 〃 3月12日(2日間) | 〃 (第6回 東京都千代田区) |

7. 牛乳微生物講習会

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|---------------|
| 平成26年10月21日 | 牛乳微生物講習会 (東京) |
| 〃 11月 6日 | 牛乳微生物講習会 (大阪) |

8. 外部会議への出席

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-------------------------------|
| 平成26年 4月15日 | 東京飲用牛乳協会 第1回品質改善委員会 |
| 〃 5月21日 | 一般社団法人乳容器・機器協会 定時社員総会、理事会 |
| 〃 6月 5日 | Jミルク第1回異味異臭対策会議 |
| 〃 10日 | 東京飲用牛乳協会 第2回品質改善委員会 |
| 〃 12日 | Jミルク第2回異味異臭対策会議 |
| 〃 20日 | Jミルク第3回異味異臭対策会議 |
| 〃 25日 | (第2回)飲用牛乳公正取引協議会専門部会 |
| 〃 9月 4日 | Jミルク ポジティブリスト委員会 |
| 〃 18日 | 東京飲用牛乳協会 第3回品質改善委員会 |
| 〃 16日 | 東京飲用牛乳協会「品質改善委員会研修会」 |
| 〃 31日 | Jミルク 生乳検査精度管理委員会 |
| 〃 11月13日 | 東京飲用牛乳協会 第4回品質改善委員会 |
| 〃 18日 | 一般社団法人乳容器・機器協会 理事会 |
| 平成27年 1月15日 | 東京飲用牛乳協会 第5回品質改善委員会 |
| 〃 2月 3日 | ジェトロ主催「日本食、食文化普及セミナー」講演 (ドバイ) |
| 〃 6日 | (第4回)飲用牛乳公正取引協議会専門部会 |

9. 各種審議会・懇談会等の傍聴

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|------------------------------------------------|
| 平成26年 4月 9日 | 農水省 関係団体向け地理的表示に関する説明会 |
| 〃 11日 | 農水省 食品表示基準説明会 |
| 〃 17日 | 消費者委員会 第5回食品表示部会加工食品表示調査会 |
| 〃 22日 | 消費者委員会 食品ワーキンググループ |
| 〃 24日 | 消費者委員会 第4回食品表示部会栄養表示調査会 |
| 〃 5月12日 | 消費者委員会 第4回食品表示部会生鮮食品・業務用食品調査会 |
| 〃 14日 | 消費者委員会 第6回食品表示部会加工食品表示調査会 |
| 〃 29日 | 消費者委員会 第5回食品表示部会栄養表示調査会 |
| 〃 6月 4日 | 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会(バイオチン承認) |
| 〃 5日 | 消費者委員会 第7回食品表示部会加工食品表示調査会 |
| 〃 11日 | 厚生労働省 食品表示基準説明会(三田共用会議所) |
| 〃 12日 | 消費者委員会 第5回食品表示部会栄養表示調査会 |
| 〃 20日 | 消費者委員会 第8回食品表示部会加工食品表示調査会 |
| 〃 7月15日 | 消費者庁 食品表示基準(案)パブコメ説明会(三田共用会議所) |
| 〃 25日 | 第30回食品表示部会(「乳等表示基準府令」の一部改正について) |
| 〃 9月 4日 | 消費者庁 食品の新たな機能性表示制度に係る食品表示基準(案)パブコメ説明会(三田共用会議所) |
| 〃 17日 | 第21回新開発食品調査部会 |
| 〃 24日 | 第31回食品表示部会(食品表示基準制度に係る審議) |
| 〃 10月 3日 | 第32回食品表示部会(食品表示基準制度に係る審議) |
| 〃 12月 2日 | 第178回消費者委員会本会議(機能性表示食品) |
| 〃 3日 | 第5回食品製造におけるHACCPによる普及検討会 |
| 〃 17日 | 第7回食品安全委員会WG(高濃度にDAGを含む食品) |
| 平成27年 1月19日 | 第1回食品安全委員会栄養成分関連添加物WG(セレン) |
| 〃 20日 | 第545回食品安全委員会(高濃度にDAGを含む食品) |
| 〃 2月27日 | 第2回食品安全委員会栄養成分関連添加物WG(セレン) |
| 〃 3月 2日 | 消費者庁 「食品表示基準及び食品の新たな機能性表示制度に係る説明会」 |
| 〃 4日 | 第6回食品製造におけるHACCPによる普及検討会 |
| 〃 10日 | 第552回食品安全委員会(高濃度にDAGを含む食品) |
| 〃 27日 | 第7回食品製造におけるHACCPによる普及検討会 |

V. 環境部

1. 環境委員会他

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|--------------------|
| 平成26年 4月 8日 | プラ推進協第1回広報啓発委員会 |
| 〃 16日 | 第1回環境マネジメントWG会議 |
| 〃 16日 | 乳協第1回環境委員会 |
| 〃 17日 | 食産センター第1回容リ分科会 |
| 〃 22日 | 経団連廃棄物リサイクル部会 |
| 〃 24日 | 食産センター第1回環境委員会 |
| 〃 5月 8日 | 第1回乳協自主行動計画WG |
| 〃 13日 | LL研第1回運営委員会 |
| 〃 14日 | 第1回牛乳LCAWG |
| 〃 22日 | 食品産業センター食品ロス削減セミナー |
| 〃 26日 | 経団連低炭素社会実行計画WG |
| 〃 27日 | 食産センター第2回環境委員会 |
| 〃 27日 | 食産センター第2回容リ分科会 |

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|---------------------------------------|
| 平成26年 6月 6日 | 経団連低炭素社会実行計画・環境自主行動計画2014年度フォローアップ説明会 |
| 〃 10日 | プラ推進協第2回広報啓発委員会 |
| 〃 18日 | 第2回環境マネジメントWG会議 |
| 〃 18日 | 乳協第2回環境委員会 |
| 〃 24日 | 食産センター第3回容リ分科会 |
| 〃 7月 9日 | 第2回乳協自主行動計画WG |
| 〃 11日 | 食産センター環境配慮設計事前打合せ |
| 〃 22日 | 食産センター第4回容リ分科会 |
| 〃 30日 | LL研全体会議、勉強会 |
| 〃 8月 5日 | プラ推進協第3回広報啓発委員会 |
| 〃 6日 | 食産センター第2回環境委員会 |
| 〃 6日 | 食産センター第5回容リ分科会 |
| 〃 19日 | 第3回環境マネジメントWG会議 |
| 〃 19日 | 乳協第3回環境委員会 |
| 〃 27日 | 食産センター第1回環境配慮設計WG |
| 〃 9月 2日 | 食産センター第6回容リ分科会 |
| 〃 10日 | 第3回乳協自主行動計画WG |
| 〃 30日 | LL研第2回運営委員会 |
| 〃 10月 3日 | 農水/食品ロス削減のための商習慣検討WG第1回日配品検討分科会 |
| 〃 14日 | 食産センター第6回容リ分科会 |
| 〃 21日 | 第1回紙パックリデュースWG会議 |
| 〃 27日 | LL研第3回運営委員会 |
| 〃 28日 | 食産センター第2回環境配慮設計WG |
| 〃 11月12日 | 乳協/第4回乳協自主行動計画WG |
| 〃 18日 | 食産センター/第8回容リ分科会 |
| 〃 19日 | 経団連/低炭素社会実行計画WG |
| 〃 26日 | 食産センター/第3回環境配慮設計WG |
| 〃 28日 | 経団連/環境安全委員会地球環境部会 |
| 〃 12月 3日 | 乳協/第4回環境マネジメントWG会議 |
| 〃 3日 | 乳協/第4回環境委員会 |
| 〃 9日 | プラ推進協/第3回広報啓発委員会 |
| 〃 16日 | 食産センター/第9回容リ分科会 |
| 〃 16日 | 食産センター/第3回環境委員会 |
| 〃 26日 | 乳協・第5回環境マネジメントWG会議 |
| 平成27年 1月15日 | 経団連/循環型社会形成自主行動WG |
| 〃 20日 | 食産センター/第10回容リ分科会 |
| 〃 28日 | 乳協/第5回乳協自主行動計画WG |
| 〃 2月 5日 | 農水/食品ロス削減のための商習慣検討WG第2回日配品検討分科会 |
| 〃 17日 | 食産センター/第11回容リ分科会 |
| 〃 18日 | 乳協/第6回環境マネジメントWG会議 |
| 〃 18日 | 乳協/第6回環境委員会 |
| 〃 26日 | LL研/第3回運営委員会 |
| 〃 26日 | 農水省・食産センター/環境配慮設計WG |
| 〃 3月 6日 | 農水/食品ロス削減のための商習慣検討WG第3回日配品検討分科会 |
| 〃 10日 | 経団連/低炭素社会実行計画WG |
| 〃 12日 | 食品リサイクル審議合同会合 |
| 〃 13日 | プラ推進協/3Rセミナー |
| 〃 20日 | 食産センター/第12回容リ分科会 |

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-------------------|
| 平成27年 3月20日 | 食産センター/第4回環境委員会 |
| 〃 30日 | 経団連/循環型社会形成自主行動WG |

2. 全国牛乳容器環境協議会関係

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|-----------------------------|
| 平成26年 4月 3日 | 第1回総務委員会 |
| 〃 7日 | 第1回イベント委員会 |
| 〃 11日 | 第1回広報委員会 |
| 〃 16日 | 4月度月次運営委員会 |
| 〃 23日 | 第64回理事会、第23回総会 |
| 〃 5月 9日 | 第2回総務委員会・支部組織委員会 |
| 〃 13日 | 第1四半期運営委員会 |
| 〃 14日 | 第2回イベント委員会 |
| 〃 21日 | 第2回広報委員会 |
| 〃 31日(2日間) | 足立区地球環境フェア出展 |
| 〃 6月 1日 | ミルクフェア2014支援(啓発教材提供) |
| 〃 3日 | 第3回イベント委員会 |
| 〃 7日(2日間) | エコライフ・フェア2014出展 |
| 〃 10日 | 第3回総務委員会・支部組織委員会 |
| 〃 11日 | 第3回広報委員会 |
| 〃 18日 | 6月度月次運営委員会 |
| 〃 7月 7日 | 第4回総務委員会 |
| 〃 7日 | 第4回イベント委員会 |
| 〃 8日 | 松戸市 組成調査 |
| 〃 9日 | 第4回広報委員会 |
| 〃 16日 | 7月度月次運営委員会 |
| 〃 18日 | 釧路市組成調査(紙推進協主催) |
| 〃 26日(2日間) | 回収拠点拡大フォローアップ(仙台) |
| 〃 31日 | 第1回リサイクル講習会(相模原市) |
| 〃 8月 4日 | 第5回広報委員会 |
| 〃 5日 | 第2回リサイクル講習会(西東京市) |
| 〃 11日 | 第5回総務委員会 |
| 〃 18日 | 第5回イベント委員会 |
| 〃 19日 | 第2四半期運営委員会 |
| 〃 21日 | 第3回リサイクル講習会(富士見市) |
| 〃 29日 | 紙パックリサイクル促進地域会議in千葉東葛(松戸市) |
| 〃 9月 1日 | 基本調査打合せ(臨時総務委員会) |
| 〃 8日 | 第6回イベント委員会 |
| 〃 8日 | 第6回広報委員会 |
| 〃 9日 | 第6回総務委員会 |
| 〃 17日 | 9月度月次運営委員会 |
| 〃 18日 | 第1回リサイクル出前授業(野田市立 二川小学校) |
| 〃 25日 | 第2回リサイクル出前授業(静岡市立 東源台小学校) |
| 〃 26日 | 第3回リサイクル出前授業(川口市立 戸塚南小学校) |
| 〃 29日 | 第7回イベント委員会 |
| 〃 29日 | 第7回総務委員会 |
| 〃 10月 2日 | 第4回リサイクル出前授業(筑西市立 上野小学校) |
| 〃 9日 | 第7回広報委員会 |
| 〃 15日 | 10月度月次運営委員会 |
| 〃 16日 | 第5回リサイクル出前授業(栃木県野木町立 友沼小学校) |
| 〃 23日 | 臨時イベント委員会(エコプロダクツ2014対応) |

| 開催日 | 開催名 |
|-------------|------------------------------|
| 平成26年10月24日 | 宮崎市組成調査(紙推進協主催) |
| 〃 30日 | 環の縁結びフォーラム(全国パック連主催、当協議会は協賛) |
| 〃 11月4日 | 第7回総務委員会 |
| 〃 6日 | 牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール 1次審査 |
| 〃 10日 | 第8回広報委員会 |
| 〃 11日 | 紙パックリサイクル促進地域会議in神奈川(横浜市) |
| 〃 12日 | 第8回イベント委員会 |
| 〃 13日 | 臨時広報委員会 |
| 〃 19日 | 第3四半期運営委員会 |
| 〃 21日 | 牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール 本審査 |
| 〃 26日 | 第6回リサイクル出前授業(奈良県王寺町立 王寺北小学校) |
| 〃 27日 | 第8回総務委員会 |
| 〃 28日 | エコプロダクツ2014全体会議 |
| 〃 12月3日 | 12月度月次運営委員会 |
| 〃 5日 | 第7回リサイクル出前授業(茨城県水戸市立 赤塚小学校) |
| 〃 9日 | 第9回広報委員会 |
| 〃 11日(3日間) | エコプロダクツ2014出展/東京ビッグサイト |
| 〃 13日 | 牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール優秀作品表彰式 |
| 〃 17日 | 第9回総務委員会 |
| 〃 19日 | 第67回-理事会 |
| 〃 24日 | 臨時広報委員会 |
| 〃 25日 | 第9回イベント委員会 |
| 平成27年 1月 7日 | 臨時広報委員会 |
| 〃 14日 | 第10回総務委員会 |
| 〃 15日 | 第10回広報委員会 |
| 〃 16日 | 第10回イベント委員会 |
| 〃 21日 | 臨時-四半期運営委員会 |
| 〃 21日 | 1月度月次運営委員会 |
| 〃 2月 3日 | 第11回総務委員会 |
| 〃 6日 | 紙R協 組成分析調査(名古屋市) |
| 〃 9日 | 第11回広報委員会 |
| 〃 13日 | 遊ぶ学ぶコンクールWG |
| 〃 13日 | 第11回イベント委員会 |
| 〃 18日 | 第4四半期運営委員会 |
| 〃 3月 3日 | 第12回広報委員会 |
| 〃 3日 | 第12回総務委員会・支部組織委員会 |
| 〃 5日 | 第12回イベント委員会 |
| 〃 7日 | 相模原市環境活動参加(ニトリモール相模原) |
| 〃 11日 | 3月度月次運営委員会 |
| 〃 19日 | 第68回理事会 |
| 〃 26日 | 信栄製紙(株)新工場見学、打合せ |

3. 飲料用紙容器リサイクル協議会関係

| 開催日 | 行事名 |
|-------------|----------------------------|
| 平成26年 4月 2日 | 3R運営会議(段ボールR協) |
| 〃 3日 | 3R推進団体連絡会 経済産業省との意見交換会 |
| 〃 30日 | 経・環省-容リ法見直し合同会合 傍聴 |
| 〃 5月 7日 | 3R運営会議(ガラスびんR協) |
| 〃 12日 | 飲紙協 理事会・総会 |
| 〃 19日 | 紙R協 理事会 |
| 〃 28日 | 「集めて使うリサイクル協会」総会・情報交換会・懇親会 |

| 開催日 | 行事名 |
|-------------|--------------------------|
| 平成26年 6月 5日 | 紙R協 総会 |
| 〃 11日 | 3R運営会議(紙R協) |
| 〃 17日(3日間) | 環境省主催 OECD グローバルフォーラム |
| 〃 24日 | 3R推進団体連絡会 審議会事前 意見交換会 |
| 〃 25日 | 農水-容器法見直し懇談会 傍聴 |
| 〃 25日 | 経・環省-容器法見直し合同会合 傍聴 |
| 〃 7月 2日 | 3R運営会議(スチール缶R協) |
| 〃 22日 | 3R川口市版パンフレット編集会議 |
| 〃 23日 | 経・環省-容器法見直し合同会合 傍聴 |
| 〃 25日 | 第1回-容器包装 3R交流セミナー(長野市) |
| 〃 30日 | 農水-容器法見直し懇談会 傍聴 |
| 〃 8月 6日 | 3R運営会議(アルミ缶R協) |
| 〃 9月 3日 | 3R運営会議(飲紙協) |
| 〃 30日 | 農水-容器法見直し懇談会 傍聴 |
| 〃 10月 3日 | 3R運営会議(段ボールR協) |
| 〃 29日 | 3R活動推進全国大会(相模原市) |
| 〃 11月 5日 | 3R運営会議(ガラスR協) |
| 〃 7日 | 第2回-容器包装 3R交流セミナー(松山市) |
| 〃 12月 1日 | 3R運営会議(PET協) |
| 〃 2日 | 3R自主行動計画 3省への説明/経産・農水・環境 |
| 〃 4日 | 経団連/容器懇談会 |
| 〃 10日 | 3R自主行動計画 記者発表会/経団連会館 |
| 〃 15日 | 3Rフォーラム/品川区 きゅりあん |
| 平成27年 1月 7日 | 3R運営会議(プラR協) |
| 〃 9日 | 古紙再生促進センター 新年互礼会 |
| 〃 2月 4日 | 3R運営会議(紙R協) |
| 〃 20日 | 容器包装 3R交流セミナー(名古屋市) |
| 〃 3月 4日 | 3R運営会議(スチール缶R協) |
| 〃 23日 | JICA対中プロジェクト報告会 |
| 〃 24日 | AsiaEPR研究フォーラム |

以上

事業報告に係る附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。